

袋井市部活動地域展開に関するQ&A 〈児童・生徒、保護者向け〉

地域展開の取組全般に関すること

- Q1 F活やふっくらぶについて、生徒・保護者への周知をどのように進めているのか。
- Q2 中学3年生は、令和8年度に部活動地域展開がスタートしたときにF活やふっくらぶに参加できるのか。
- Q3 令和8年度、部活動に加入しないでF活や民間クラブへ参加できるのか、また部活動に加入しながらF活や民間クラブへの参加は可能か。
- Q4 F活やふっくらぶに参加した生徒の保険は、どのようになるのか。

子どもの活動（F活-袋井市認定地域クラブ）に関すること

- Q5 現在の部活動が、F活に移行するととらえやすいが、袋井市の取組の正確な情報を発信してほしい。
- Q6 現在、F活にどの程度のクラブが登録されているのか、今後その数が拡充される見込みがあるのか。
- Q7 F活の登録クラブについて、参加費・活動日・活動場所など詳しい情報を示してもらえるのか。
- Q8 中学生が自分で通うことができる範囲にF活や民間クラブが用意されるのか。
- Q9 F活に参加する場合、帰宅しないでそのまま活動場所に移動して活動に参加することはできるのか。
- Q10 F活が令和8年からスタートすることで、部活動に所属しながらF活に登録している生徒が出てくることが想定されるが、大会への参加について学校とF活のどちらで参加することになるのか。
- Q11 令和8年度入学生が吹奏楽部(学校の部活動)を希望する場合、3年生の最後の夏の大会には出場できなくなるのか、それとも他に受け皿となるものが用意されて、2年生の夏に受け皿となるF活や民間クラブに移籍できるのか。
- Q12 F活登録団体が中体連の大会に出場できるのか、また協会主催の大会についても参加できるのか。

子どもの活動（ふっくらぶ）に関すること

- Q13 生徒のニーズが多様化する中で、ふっくらぶは、生徒が興味を持てる種目を用意できるのか。

Q14	ふっくらぶへは、部活動やF活、民間クラブに所属していても参加できるのか。
Q15	ふっくらぶへの参加は、年間を通して参加する方法か、体験教室毎に参加する方法か、どのようになるのか。
Q16	ふっくらぶの生徒の参加料はどの程度を考えているか。
部活動に関すること	
Q17	部活動の保護者会が中心となってF活を立ち上げる場合、備品類が正式な手続きを得ないでF活に利用されることなどが心配される。
Q18	令和8年夏の中体連磐周大会はどのような形で開催される予定か。また、令和9年夏まで継続される袋井市の部活動の練習試合はどう進めるのか。
Q19	令和9年度以降の平日の部活動では、中体連の地区大会に学校として参加できなくなるが、水泳、柔道、剣道など個人戦への参加希望があれば認められるのか。
Q20	生徒が部活動とF活の両方の活動をした場合、ガイドラインに示されている週12時間以内の活動を超えることが考えられるが、どう対応したらいいか。
Q21	令和9年度以降、平日の部活動はどんなことを目標に取り組むのか。
Q22	高校入試の調査書に記載する諸活動の記録について、F活や民間クラブの生徒について情報収集しにくくなるが、今後どのようになっていくのか。
Q23	平日の部活動に参加している生徒が、令和9年度以降学校として中体連の大会に出場できるようにしてほしい。
Q24	部活動地域展開が来年度から徐々にスタートする中、中学校として部活動の見直しが必要になるのではないのか。

袋井市部活動地域展開に関するQ&A 〈指導者向け〉

地域展開の取組全般に関すること

Q25 教員が、F活の指導に関わることができるのか。

子どもの活動（F活-袋井市認定地域クラブ）に関すること

Q26 市内中学校の吹奏楽部の地域展開は、活動場所、楽器の保管、運搬、貸出等様々な課題がある中、どのように進められていくのか。

Q27 F活の運営が持続可能になるようにするために市として考えていることはあるのか。

Q28 チーム編成としての人数が確保できなくてもF活に登録することはできるのか。

Q29 F活や民間クラブに係る指導者に対する手当は出されるのか

Q30 F活や民間クラブを立ち上げるにあたって課題として考えられることは何か。

Q31 保護者会の有志でF活のクラブを立ち上げることが可能とのことだが、現在の保護者会のように代表等の任期が1年で変わっても登録要件を満たすことができるのか。

学校施設開放について

Q32 令和9年夏以降、学校の施設は、16:00以降F活や民間クラブでどのように利用されるか。

Q33 F活やふっくらぶの活動場所・時間の申請は、市公共施設予約システムでスポーツ政策課で一括管理ととらえてよいか。

Q34 令和9年度の夏までは土日に部活動があるため、それまでの土日の学校施設（グラウンドや体育館）の優先利用は学校となるのか。また、その場合、F活の施設は足りるのか。

Q35 令和12年度まで平日の学校部活があるため、令和9年夏以降、平日に学校部活とF活が同時にグラウンドで活動するような場面はあるのか。

Q36 F活で学校施設の優先利用が行われると、保護者の送迎等で駐車場が込み合い問題が発生する可能性があるがどう対応するのか。

袋井市部活動地域展開に関するQ&A <児童・生徒、保護者向け>

地域展開の取組全般に関すること

Q1	F活やふっくらぶについて、生徒・保護者への周知をどのように進めているのか。	<p>市教育委員会として部活動地域展開について理解いただくようなことに取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校5.6年生に部活動地域展開のチラシ配布 7月下旬 ・ 市内教職員への資料配布 7月下旬 ・ F活等の相談会 9月30日、10月7・31日、11月14・21日 ・ 中学校入学生説明会 11月21・25・26・28日 ・ F活実証事業(5クラブ) 令和7年1月～順次 ・ 企業による陸上教室10/25、野球教室11/26、卓球教室1/10、スキー教室1/17 ・ ふっくらぶ実証事業(4 中学校各 1 回) 11月5日、11月26日、12月3日、1月21日 ・ F活&ふっくらぶ体験会 令和8年2月8日
Q2	中学3年生は、令和8年度に部活動地域展開がスタートしたときにF活やふっくらぶに参加できるのか。	<p>中学3年生のF活やふっくらぶへの参加は可能であり、本人・保護者の判断による。しかし、ふっくらぶについては受け入れの適性人数から人数調整させていただく場合がある。</p>
Q3	令和8年度、部活動に加入しないでF活や民間クラブへ参加できるのか、また部活動に加入しながらF活や民間クラブへの参加は可能か。	<p>市内4中学校とも部活動は任意加入制となっている。これまで通り、部活動に加入せずF活や民間クラブに参加したり、部活動とF活、民間クラブの両方に参加したりすることも可能である。</p>
Q4	F活やふっくらぶに参加した生徒の保険は、どのようになるのか。	<p>学校内の活動ならスポーツ振興センターの対象となる。しかし、F活やふっくらぶの場合は学校外の活動となることから各個人が新たに加入するスポーツ安全保険等の民間保険により、行き帰りや活動中のけが及び傷害が保障される。</p>

子どもの活動（F活-袋井市認定地域クラブ）に関すること

Q5	現在の部活動が、F活に移行するととらえられやすいが、袋井市の取組の正確な情報を保護者等に発信してほしい。	<p>袋井市の取組では、部活動がそのまま地域に移行するものとは考えていない。民間や地域の力で自発的に受け皿ができ、部活動は段階的に縮小する中で、生徒が民間クラブ・F活・ふっくらぶを選択していくことができような仕組みづくりに取り組んでいる。そのことを入学説明会やホームページで児童や保護者等の方々に説明している。</p>
----	--	---

Q6	現在、F活にどの程度のクラブが登録されているのか、今後その数が拡充される見込みがあるのか。	12月10日現在、登録申請されたクラブは15団体で、登録申請を検討しているクラブも複数みられる。今後も、拡充に向けて教育委員会として広報活動に努力していくが、生徒が希望するすべての種目がF活として設置できない可能性があるため、生徒の選択肢となりうる民間クラブの情報も提供していく。
Q7	F活の登録クラブについて、参加費・活動日・活動場所など詳しい情報を示してもらえるか。	入学説明会の資料として、団体名・種目種類名・参加費・活動日・活動場所・団体への加入方法などを一覧にして説明した。今後ホームページにも資料として掲載していく。
Q8	中学生が自分で通うことができる範囲にF活や民間クラブが用意されるのか。	F活については、各中学校区に設置するものではないため、中学生が自分で通いやすい会場での活動とは限らない。移動手段については、受益者負担と考えている。（送迎の負担によってスポーツ・文化芸術活動の機会が失われることがないように、「ふっくらぶ」を設けている）
Q9	F活に参加する場合、帰宅しないでそのまま活動場所に移動して活動に参加することはできるのか。	現在は、一度帰宅して次の活動に参加することを原則としている。しかし、自宅に戻ると活動の開始時刻に間に合わないなど、やむを得ない事情があると認められる場合は、F活に直接参加することを認める。その際、移動距離が長く自転車通学を希望する場合は、「自転車通学許可申請書」を提出し、許可を得ることとする。なお、自転車通学を申請する場合は、安全基準や保護者の同意等を満たすことを条件とする。
Q10	F活が令和8年からスタートすることで、部活動に所属しながらF活に登録している生徒が出てくるのが想定されるが、大会への参加について学校とF活のどちらで参加することになるのか。	部活動とF活の二重登録となる場合、どちらの立場で大会に参加するか悩む生徒が出てくることも考えられる。最終的に本人・保護者の判断による。
Q11	令和8年度入学生が吹奏楽部(学校の部活動)を希望する場合、3年生の最後の夏の大会には出場できなくなるのか、それとも他に受け皿となるものが用意されて、2年生の夏に受け皿となるF活や民間クラブに移籍できるのか。	令和9年夏以降の部活動では学校として大会への参加はできなくなる。現在、吹奏楽部のF活は、まだ設置できていないが、関係者にF活への登録を呼びかけている。仮に吹奏楽の団体が立ち上がれば、2年生の夏以降、生徒が希望すれば移籍は可能である。

Q12	F活登録団体が中体連の大会に出場できるのか、また協会主催の大会についても参加できるのか。	中体連が設けるクラブ参加の基準を満たす団体は参加できる。また、市町が認定する「認定地域クラブ活動」の支部予選参加を中体連で検討している。なお、協会主催の大会については、袋井市としては判断できないため、各種協会の大会運営要綱による。
子どもの活動（ふっくらぶ）に関すること		
Q13	生徒のニーズが多様化する中で、ふっくらぶは、生徒が興味を持てる種目を用意できるか。	令和7年5月の児童生徒へのアンケート結果や現在実施しているふっくらぶ実証事業参加者アンケートを参考に、できるだけ中学生が興味を持って参加できるスポーツ、文化・芸術の種目を用意していく。
Q14	ふっくらぶへは、部活動やF活、民間クラブに所属していても参加できるのか。	ふっくらぶは、中学生のスポーツ、文化・芸術に親しむ機会を充実させることを目的としているため、部活動やF活、民間クラブに所属していても参加できる。
Q15	ふっくらぶへの参加は、年間を通して参加する方法か、体験教室毎に参加する方法か、どのようになるのか。	参加料をできるだけ低く抑えるため、体験教室ごとの参加(参加料徴収)よりも年間を通した参加(参加料一括徴収)としていきたい。
Q16	ふっくらぶの生徒の参加料はどの程度を考えているか。	生徒の参加料については、原則として受益者負担と考えているが、できるだけ低廉な価格となるようにしていく。スポーツ安全保険等の保険料は、受益者負担と考えている。
部活動に関すること		
Q17	部活動の保護者会が中心となってF活を立ち上げる場合、備品類が正式な手続きを得ないでF活に利用されることなどが心配される。	部活動の保護者会の廃止に向けて備品や会計の処理を組織的に進めていくよう学校に働きかけている。
Q18	令和8年夏の中体連磐周大会はどのような形で開催される予定か。また、令和9年夏まで継続される袋井市の部活動の練習試合はどう進められるのか。	現在、県及び地区（支部）中体連で令和8年度の地区大会について検討されている。令和8年夏以降から令和9年夏までの部活動の練習試合については、これまでと同様に学校の判断となる。
Q19	令和9年度以降の平日の部活動では、中体連地区大会に学校として参加できなくなるが、水泳、柔道、剣道など個人戦への参加希望があれば認められるのか。	個人戦の種目については、令和9年夏まで参加できる。しかし、夏以降は部活動の地域展開で土日の活動がなくなるため、学校として団体種目と同様に参加できなくなる。

Q20	生徒が部活動とF活の両方の活動をした場合、ガイドラインに示されている週 12 時間以内の活動を超えることが考えられるが、どう対応したらいいか。	部活動と F 活登録クラブは別団体となるため、ガイドラインの適応外になると考えている。ただし、生徒にとって過重負担とならないようにガイドラインに示された週 12 時間以内を示して自己管理できるよう働きかけていきたい。
Q21	令和 9 年度以降、平日の部活動はどんなことを目標に取り組むのか。	大会参加という目標はなくなるが、市としては技術能力や体力の向上、友だちとの交流などを目標に楽しくスポーツ・文化に親しむことで、人間的な成長を目指す活動をイメージしている。このような考え方で、各学校の実態に応じて進めていく。
Q22	高校入試の調査書に記載する諸活動の記録について、F活や民間クラブの生徒について情報収集しにくくなると考えるが、今後どのようなようになっていくのか。	これまでと同じようにクラブの指導者に依頼して提出してもらった情報を記載していくこととなる。調査書の内容については、県教委高校教育課から変更に関する情報は入っていない。
Q23	平日の部活動に参加している生徒が、令和9年度以降学校として中体連の大会に出場できるようにしてほしい。	令和9年夏以降土日の部活動が地域に移行していくため、学校として参加することはできない。大会への参加を希望する場合は、F活や民間クラブを選択していくことが必要になる。
Q24	部活動地域展開が来年度から徐々にスタートを切る中、中学校として部活動の見直しが必要になるのではないか。	部活動地域展開の動きの中で、顧問数や所属部員数、地域の受け皿の今後の見直しを考えて部活動の見直し(廃部等)を検討している学校が出てきている。

袋井市部活動地域展開に関するQ&A 〈指導者向け〉

地域展開の取組全般に関すること

Q25	教員が、F活の指導に関わることができるのか。	F活や民間クラブの指導者(代表者を含む)について、袋井市の実施方針「指導者は教員以外の者を確保」のとおり、国のガイドラインや県の方針、教員の働き方改革等を踏まえ、地域の指導者の確保に努めている。F活や民間クラブでの指導を希望する場合(代表者を含む)、勤務に支障をきたさない範囲ならば申請の内容に応じて認めていく。
-----	------------------------	--

子どもの活動（F活-袋井市認定地域クラブ）に関すること

Q26	市内中学校の吹奏楽部の地域展開は、活動場所、楽器の保管、運搬、貸出等様々な課題がある中、どのように進められていくのか。	吹奏楽部の地域展開については、課題が山積していることは承知しているので、市役所内の関係課や学校、公共施設等と課題解決に向けて取り組んでいる。
Q27	F活の運営が持続可能になるようにするために市として考えていることはあるか。	持続可能な運営になるよう参加費の徴収は必要である。また、各実施主体の活動が安定するよう事務局の運営体制の構築も進めていく。
Q28	チーム編成としての人数が確保できなくてもF活に登録することはできるのか。	チーム編成の人数を確保できなくても設立することはできる。ただし、学校体育施設の減免は、市内在住の児童生徒10人以上を対象としている。
Q29	F活や民間クラブに係る指導者に対する手当は出されるのか。	クラブ運営を持続可能なものにするため、F活や民間クラブの参加者からの会費で、指導者への報酬・手当が支払われるようにしていく。
Q30	F活や民間クラブを立ち上げるにあたって課題として考えられることは何か。	設置に向けての課題として、活動場所や指導者の確保、道具準備・管理、会費徴収などがあげられる。また、登録するための要件を満たす必要がある。なお、保護者会をクラブ化する場合は、保護者会を一度解散して有志によるクラブ活動を立ち上げるなど、すべての保護者の理解を得やすい形を取ることが必要になる。
Q31	保護者会の有志でF活のクラブを立ち上げることが可能とのことだが、現在の保護者会のように代表等の任期が1年で変わっても登録要件を満たすことができるのか。	代表等の任期は1年でも構わないが、各団体の活動が持続可能な運営体制となるようF活の登録要件として「役員は4名以上で構成」としている。また、翌年の登録に向けて、前年度に開催する「F活指導者研修会に役員のうち2名以上が参加すること」も要件としている。

学校施設開放について		
Q32	令和9年夏以降、学校の施設は、16:00以降F活や民間クラブでどのように利用されるか。	部活動を実施しない平日の16:30-18:30の時間帯をF活登録クラブに開放するため、現在(月)(水)に実証事業を展開している。また、水曜日の放課後は、15:15-16:15は「ふっくらぶ」を展開していく。「ふっくらぶ」は月1回程度の実施から段階的に頻度を増やそうと考えている。
Q33	F活やふっくらぶの活動場所・時間の申請は、市公共施設予約システムでスポーツ政策課で一括管理ととらえてよいか。	現在、市公共施設予約システムで運用ができるよう準備をしている。学校には、事前の利用可否の入力をお願いすることになる。
Q34	令和9年度の夏までは土日に部活動があるため、それまでの土日の学校施設（グラウンドや体育館）の優先利用は学校となるのか。また、その場合、F活の施設は足りるのか。	学校施設は、平日夕方、土日とも部活動が優先となる。条件が合えばできるだけF活または民間クラブの活動に開放するようしていきたい。
Q35	令和12年度まで平日の学校部活があるため、令和9年夏以降、平日に学校部活とF活が同時にグラウンドで活動するような場面はあるのか。	学校施設は、平日の放課後の時間について部活動が優先となる。しかし、平日の月・水、また土日のどちらかは部活動がないため、中学校施設をF活の団体に優先的に開放していく。
Q36	F活で学校施設の優先利用が行われると、保護者の送迎等で駐車場が込み合い問題が発生する可能性があるがどう対応するのか。	現在実証事業を展開している中学校では、平日の利用に関する駐車場の混乱に関する報告はない。しかし、土日の利用に関して部活動とクラブの利用で駐車場の混雑が発生した事例があることから、スポーツ政策課と駐車場の利用台数の制限をクラブ側に求める等の対応を検討していく。